

Contents

02-05 商品ものがたり
ミニカップ納豆



◀今回取材した、
 (右から)株式会社牛若納豆 福三田会長、
 齋藤営業部長、桃井取締役事業部長

06-07 そうなんや! 生協
 京都生協の産地・工場点検

08-09 食とくらしの安全・安心
 ・食の安全・安心
 「食品添加物はなぜ嫌われる？」
 ・くらしの安全・安心
 『暮らしのレスキューサービス』での
 トラブルにご注意を」

10-11 information / ヒバクシャ国際署名11万1,537筆を達成しました!

12 「ネイビーズアフロ」がせいきょう牛乳
 ブランドアンバサダーに就任しました!

13-15 読者投稿コーナー ほっとTIME
 16 四季彩ごはん



ガトーンビジブル



現代に引き継がれる
 古くから地元で愛されてきた味わい

▲納豆菌をふりかけた煮豆。粒の美しい、良質の北海道産スズマル大豆を使用



ミニカップ納豆(たれ付き)
 30g×3

宅配にて11月2回・11月4回
 取り扱い予定
 店舗にて取り扱い
※企画回、規格ともに変更になる場合があります

朝食に納豆を食べるといふ人は多いのではないのでしょうか? 白ご飯との相性も抜群ですよ。混ぜ方や味付け、卵やネギといった食材との組み合わせなど、それぞれでこだわりの食べ方があるのも、長い歴史を持つ納豆ならではの、長い歴史を持つ納豆ならではの。近年は、さまざまな健康効果が期待される納豆菌のパワーも注目されています。

「生協の店」1号店 時代からの 長いお付き合い

丸型の紙容器に入った「ミニカップ納豆(たれ付き)」は、四半世紀にわたって組合員から愛されてきた京都生協コープ商品。コープのお店でも、宅配でも購入できるおなじみの商品です。

製造するのは、株式会社牛若納豆(以下、牛若納豆)。前身の会社が1877年(明治10年)に京都市北区紫竹に創業した納豆の老舗です。会長の福三田邦彦さんは、「私が入社した1966年(昭和41年)ごろ、京都生協の担当者から話があり、1968年に開店した『生協の店』1号店(現コープ下鴨)にうちの納豆を卸すことになりました」と話します。